85 F 52

月本國政府

實用新案公報

實用新樂出類公告 昭26—1096

せんべい 徳 成 楼

顕面の路解

第1個本梁の一部を切裂せる正面圏、第2個本梁 の一部を切裂せる平面圏

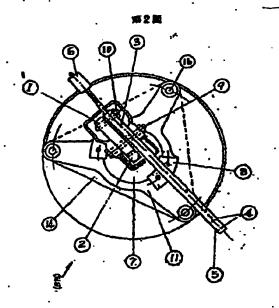
實用新家の性質、作用及效果の要領 本案は開闢に示す如く七輪17を軟屋する様にした 機枠の支柱16,18,16に七輪の上方に関して熱敏 14を又此の上部に頂皷11をそれぞれ政策け支持筒 7の下鍵を頂銀11に質通せるボールトに購入した 切除を育するナット8の該切除に係合して止済し 下端に壓破12を育するラック2を支持億7及頂釼 11に頁通せしめ支持筒7に輪9落せる局形齒輪1 を前配ラック2に留合せしめ且づ該輪9に抵抗せ るレバー8と局形齒輪1の要都とを輸10着すると 共にレバー8の失縮に付るものなり18は焼成するせん べい焼成機の特強に係るものなり18は焼成するせん 人べいの合せ型。 くはレバー3の一緒にあけるれ た取付穴、5は連絡架。

本業わ右配の構造を有するからた輪17に依て加熱された熱銀14上に於て加熱された合せ型13の中に数粒此他の原料を入れ、レバー3の一端の連絡穴4に連絡された連絡束5に座なる路板を随むとレバー3を下方に削張りレバー3に固定された層形微輪1カラック2を下方に押し共の下部に取付6.れた路板2に依て合せ型13は加壓される。

随似より足を除す疑問重盛6の重力に依りレバー 8が上りレバー8に止着された風形曲輪1に依り テフタ2を上昇させ歴紀13の加壓力を一気に被壓 する事に依りせんべいを構成する。新の如く本業 に於てわ、ラフタ及挺子原用に依りせんべい機成 の勞力を減じ切缺を有するナフト8をゆるある事 に依り支持筒7を廻轉させレバー8の位置を自在 に變換して使用者の任意好所なる位置姿勢を可能 にする等の效果を有する。

登録請求の範圍

関節に示す如く七輪17を軟置する様にした機枠の 支住16,16,16に七輪の上方に関して熱級14を又 此の上部に頂飯11をそれぞれ取着け支持筒7の下 縁を頂級11に貫通せるボールトに爆入した切底を 有するナフト.8該切趺に保合して止殺し、下端に 監飯12を有するファク2を支持筒7及頂飯11に頁 通せしめ支持筒7に頼9着せる魔形食輪1を前部 ファク2に留合せしめ且つ該輪9に抵着せるレバー8と風形食輪1の更都とを軸10番すると共にレ バー8の先輪には重極5を設けて成るせんべい機 成機の構造。



阳和28年2月9日 東京都千代田區三年町1 特許議發行 定價金8圈 全2頁